少林寺たより
しょうりんじ

澤龍
たくりゅう

No.12
平成29年　盆号
平成29年5月15日発行

「ヒトツバタゴ」通称「なんじゃもんじゃの木」
五月頃、可憐な白い花を咲かせ満開になる

供養

供養とは「供給資養」の略語で、供物を捧げ慈愛と尊敬をこめ、真心をもって養う（おもてなし）ことです。

三宝（仏・宝・僧）や死者に、水、焼香、生花、線香、飲食、灯明等を供え、僧侶・家族・親族・縁者等が集まり、読経し、善行を積み、その功徳を回向（回し向ける＝手向ける）致します。

供養を法事とも呼びます。本来は仏様の教えを知る（学ぶ）ことでした。それが次第に、故人の供養を勤める事を「法事」と呼ぶようになりました。

多くの人は、盆や彼岸、命日や○年忌等、普段から先祖や大切な方に感謝や冥福を祈られていると思います。また、自分自身を見直す時間にもされていると思います。その心と行為が供養です。その供養される善い行いの姿が清き尊く、仏道修行となり、安らかな境地なのです。

供養を通じて、大切な方とのつながりを保ち続け、共に幸せになれるようお手伝いをさせて頂きます。受けた恩に感謝。出来る喜びを大切に。

住職　清涼　晃輝　合掌

平成二十九年 年回表

一周忌	平成二十八年
三回忌	平成二十七年
七回忌	平成二十三年
十三回忌	平成十七年
十七回忌	平成十三年
二十三回忌	平成七年
二十五回忌	平成五年
二十七回忌	平成三年
三十三回忌	昭和六十年
三十七回忌	昭和五十六年
四十三回忌	昭和五十年
四十七回忌	昭和四十六年
五十回忌	昭和四十三年
百回忌	大正七年

今があるのは
ご先祖様のお陰

仏の智慧に学ぶ

諸行無常

諸行無常とは、諸の行（物事）は常では無い。色々な縁の和合からつくられ、永久不変なものはない。

「涅槃経」には次のように説かれています。

諸行無常・是生滅法・生滅滅已・寂滅為楽

（訳）諸々の因縁でつくられたものは無常である。
生じては滅びるものであり、生じては滅びる。
それらの静まることが安楽（覚り）である。

弘法大師作と伝わる「いろは歌」

色は匂へど 散りぬるを（諸行無常）
我が世誰ぞ 常ならむ（是生滅法）
有為の奥山 今日越えて（生滅滅已）
浅き夢見じ 酔ひもせず（寂滅為楽）

（訳）香りよく咲いた花もたちまち散り。
人が生まれやがて死ぬのは世の自然の流れ。
苦しみの山々を今日超えて目覚める。
もう浅はかな夢もなく迷いがない。

一瞬一瞬が常に変化している。だからこそ、この一瞬が何物にも代えがたい貴重な時間。この世の無常を感じ執着を捨て、諸々の物事を善い方向に向かわせ、前向で安らかな日々を送りましょう。

澤ちゃんの仏教・仏事Q＆A

曹洞宗お焼香のお作法とは？

1、仏前で対象をみて合掌礼拝。
2、右手三指（浄指＝親指・人差指・中指）でお香をつまみ、左手を右手の下にそえ額に軽く押し念じて頂きそのままお香を炭で焚きます。
4、二回目は、お香をつまみ、今度は額に頂かずそのままお香を焚きます。
5、再度、対象をみて合掌礼拝。

一回目は主香といい額に頂きます。二回目は従香といい額に頂かずそのまま焚きます。

参列者が多い場合は一回のみでよいです。導師や遺族に一礼のご挨拶も大事なお作法です。

元来、お香は匂い消しや清らかにするために始まりました。香りを感じ、お心清浄に焼香礼拝し、仏の徳を無眼に広めましょう。

各宗派の基本的なお焼香回数

・天台宗…1回又は3回
・真言宗…3回
・浄土宗…特にこだわらない
・浄土真宗本願寺派（西）…1回（額に頂かない）
・浄土真宗大谷派（東）…2回（額に頂かない）
・臨済宗…1回
・曹洞宗…2回（1回目のみ額に頂き、2回目はそのまま焼香）
・日蓮宗…1回又は3回
・日蓮正宗…3回

各宗のお作法通りされるのが最善ですが、わからない場合は、回数に迷わずとらわれず、真心を込めご焼香いたしましょう。

○あなたもお坊さんになりませんか？　ご興味のある方、少林寺住職までお問い合わせ下さい。

お月さま

坐禅、ヨガと月

志賀　勝

月のある環境は私たちが生まれてきた故郷である、というような内容を前回読んでいただきましたが、少林寺におかれても坐禅とかヨガの実践を月を意識しつつ行なっておられ、この試みは私たちの身体や精神の回復といったひじょうに今日的な課題に関わるので、さらに話をつづけてみたいと思います。

もともと人類は、何万年ものあいだ、月（太陽の存在ももちろんですが）の自然環境と人間が不可分に結びついていると感じて生きてきたものです。満ち欠けして日々変わる月は人の盛衰に直結していて、たとえば、中国で発展したハリ・灸などの技術は月の状態（満ちていく月か欠けていく月かという状態）によって施療が行なわれました（紀元前二千数百年前の『黄帝内経（こうていだいけい）』といったもっとも初期の医学書にそのことが書かれています）。西洋でも事情はおなじで、「医」をめぐって月を重視する態度に東西のちがいはありませんでした。

こうした人間観、自然観は近代になってくずれました。医学とか化学とかの「近代科学」が誕生してからのことで、人体をもっぱら自然から切り離されたモノとして見る考え方が支配するようになりました。現在私たちのほとんどは、出産・誕生から死にいたるまでの人生全体が医療によって左右されていて、この医療の過干渉ともいえる弊害もまた深刻な今日の状況となっています。自然の存在であるべき人間の身体、精神の回復がきわめて切実な課題となっているのです。

原始仏典といわれる、もっとも初期の仏教の記録を読んでみると、仏陀（お釈迦様）が月にたとえられたり、仏陀のまわりに集まった人びとの集会がかならず満月の下で行なわれたりしていて感動的ですが、月の存在があってはじめて人も存在し、人のつながりも成立したんだということがよく分かります。

近年注目があつまるヨガもインド発祥ですが、仏教の坐禅もまたもともとはヨガと源流をおなじくするものです。ヨガには新月、満月時の特別な技法があり、月を意識した身体、精神の養生法ということができますが、坐禅もまた月と親和的です。したがって、お寺で取り組まれているような実践は、古くからの伝統を重視し、しかも現代のさまざまなゆがみから人間を解き放つ画期的な試みだということができるのです。

聞くところによると、岐阜県の郡上市にある秋葉三尺坊という曹洞宗のお寺でも新月、満月の夜の坐禅をはじめているそうです。宗派全体におなじような動きがあるかどうか分かりませんが、私が志している「月の復興」にもつながるこのような動向はじつに心強く、その広がりを注視して見守っているところです。

http://tsukigoyomi.jp

なむなむ　のんのんさま

寺小屋

三月より「英語教室」開始

講師　山本 明徳 先生

小学四年生～六年生十二名

①礼儀作法を学び

②美しい日本語会話の習慣

③英語力を身に付ける

将来活躍できるよう指導しています。

みんな元気いっぱい、よく頑張っています！

ご意見、ご感想、投稿【募集中】

趣味、特技等の発表にお使い下さい

「なむなむ のんのんさま」「檀信徒を訪ねて」

出ませんか？　お気軽にお声かけ下さい

護持会総会

護持会新役員 紹介

総代長　福島　鎭夫
総代　岸　章弘
総代会計　髙柳　泰雄
総代　片山　勇

筆頭理事　政安　広規
筆頭理事　河原　静嘉
筆頭理事　楽間　真一
筆頭理事　山口　訓秀
理事　原田　泰
理事　福島　収三

理事　保田　長昭
理事　國米　道雄
代表監事　西山　哲也
監事　實成　喜久治
監事　政安　敏章
監事　澤田　祐二
協議員　牧原　実
協議員　奥　良文
協議員　政安　眞守
協議員　中島　孝志
協議員　森　健樹
協議員　福島　康弘
協議員　岡　徳義
協議員　小林　和徳
協議員　福島　滋
協議員　杉井　勝行
協議員　永田　千津子
協議員　岡本　福三
協議員　難波　幸宏
協議員　實成　尚美
協議員　國米　章次
協議員　實成　幸雄
（順不同敬称略）

旧役員様ありがとうございました。新役員様四年間宜しくお願いいたします。

お寺でヨガ

田中峰彦　先生

スカット☆リンダ　先生

旧暦元日（一月二十八日）新年、新月、月の再生に合わせ人もリセット！まずはご本尊〈観音〉様へお勤め。次に〈田中峰彦〉先生によるインドの伝統楽器「シタール」の生演奏。そして、〈スカット☆リンダ〉先生のヨガ教室。ヨガとシタールのコラボは何とも心地よく、最後に参加者十三名で若水生姜湯で懇親会。

三月十八日より〈スカット☆リンダ〉先生のヨガ教室を定期開催。毎月第一・第三土曜日（詳細14頁）です。

婦人会総会

婦人会新役員 紹介

会長　小林 真佐子
副会長　武村 依子
副会長　實成 恵子
会計　政安 千恵子

理事　森 雅恵
理事　出平 英子
理事　杉井 聖子
理事　原田 由美子
理事　河本 和子
理事　屶 ひさ江

理事　福島 文子
理事　國米 貞子
理事　實成 良子
理事　大田 佳子
監事　原田 郁子
監事　政安 由紀子
評議員　牧原 良子
評議員　奥 朋
評議員　政安 知恵子
評議員　中島 けい子
評議員　岡 千与美
評議員　矢宗 きみ子
評議員　福島 千恵美
評議員　河原 香枝
評議員　太田 弘子
評議員　一柳 清美
評議員　近藤 愛
評議員　高柳 砂知子
評議員　岡本 文子
評議員　國米 梅子
評議員　國米 直子
評議員　實成 尚美

（順不同敬称略）

いつもお力添え頂きありがとうございます。二年間よろしくお願い致します。

●奉仕清掃活動

三月二十日
中北下地区

●法要接客係

総供養（三月二十日）
・保田カツエさん
・永田千津子さん

お世話になりました。皆様のお陰で美観が保たれ、行事を営むことが出来ました。いつもありがとうございます。

今冬の大雪。原田豊さんが重機で四日間除雪作業を奉仕頂きました。

【お話し聞きます】

悩んでいる方、落ち込んでいる方、寂しさを感じている方、つらい方、私で宜しければ、お話し聞かせて頂けませんか。また、人生相談、仏事相談もご遠慮なく。いつでも、どうぞ。

豊川稲荷参拝と檀信徒ふれあいの旅

片山　勇

３月８日～１０日の２泊３日で住職と行く参拝の旅があり参加しました。出発時には雪花が舞う寒い朝でしたが、中国道を東に兵庫県に入る頃には空も明るくなり、お陰様で３日間とも好天に恵まれ楽しい旅が出来ました。バスにゆられ昼前に着いた関ケ原はさすがに山中で春の雪景色でした。

―日本の歴史を変えた関ケ原―

家康と三成の天下分け目の合戦を再現したテーマパークでは２５０体以上の等身大の武将人形が合戦を再現し、東西両軍の布陣を体感し当時の戦場の雰囲気を味わいました。小早川秀秋が寝返っていなかったら日本の歴史は変わっていたかも、そんなことを想像しながら…。

関ヶ原ウォーランド

―日本最古の犬山城―

木曽川のほとりの小高い山に建てられた国宝の天守閣からの３６０度見渡せる眺めは絶景でした。天守は日本最古の様式らしいですが、急な階段には２～３日足を痛められました。

犬山城

―豊川稲荷は曹洞宗のお寺さん―

稲荷と聞けば神社を思い浮かべる人が多いかと思いますが、豊川稲荷は曹洞宗の寺院でした。正式名称は「円福山豊川閣妙厳寺」です。住職の「明治政府の神仏分離政策により神仏が区別された」で納得。鎮守が稲穂を荷ない白い狐に跨っているため、狐を祀る稲荷とは違うようです。神仏が集合していた頃の鳥居が境内には立っており、豊川稲荷の名で知られています。

市街地に在りながらも広い境内は静かで多くの建造物や狐塚には見渡す限りの石像が並んだキツネに圧倒されました。

泊も数年前訪れた永平寺の様な厳しさもなく夕食の精進料理にアルコール（御神酒）が出たのには驚きでした。

豊川稲荷

豊川稲荷に宿泊し、清々しい朝の境内散策

―居眠りからついた可睡斎―

可睡斎は袋井市にある曹洞宗の寺院で江戸時代には東海４カ国の寺を取り締まる地位の高いお寺で、ある時和尚が家康の前で居眠りを始めたため、親愛をこめて「可睡斎」と呼ばれているそうです。

訪れた時には可睡斎のひな祭

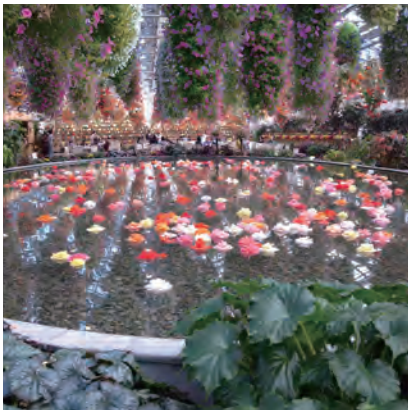
りが開かれており、お堂の通路にもびっしりのひな人形が並び、大広間には３２段・１２００体のおひな様に圧倒され、多くの観光客に華やかさを演出していました。

32 段 1,200 体のお雛様

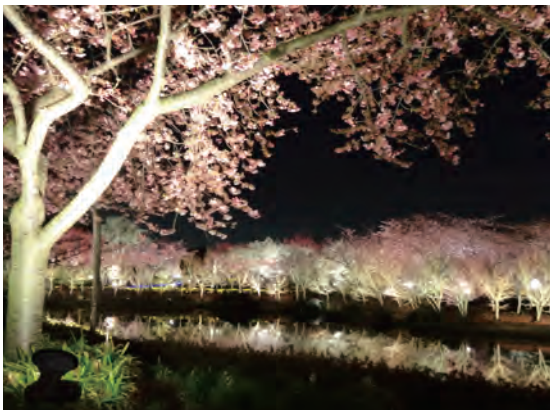
火防総本山秋葉総本殿可睡斎

―光のトンネルなばなの里―

長島温泉の近くのなばなの里に昼夜２度行きました。昼は日本最大級のガーデン巡り、満開の紅梅や温室内では多種の花々を栽培。特にベゴニアが咲き乱れる様子は圧巻でした。夜は巨大パノラマのイルミネーション。巨大な大地に富士山や飛び跳ねるイルカやらのすごい演出。また長い光のトンネル。感動ものでした。



なばなの里でお花見



なばなの里　イルミネーション

なばなの里　ベゴニアガーデン

２００メートルの光トンネル

―お釈迦様日泰寺―

いずれの宗派にも属さない日本の全仏教徒のための寺院で、お釈迦様の真骨をタイ国より拝受し奉安するために建立されたそうです。全員で舎利礼文を読経し礼拝しました。

旅の概要は以上ですが、今回の参拝は予定の人員より少ない１８名での旅で多少寂しかったですが、３カ寺での参拝をはじめ今日まで見たことのないスケールの大きな観光地を巡り大いに盛り上がりました。また、食事や宴会を含め初対面の人とも親しくなり、顔と名前が一致するようになったのも収穫でした。

住職と行く参拝旅行に参加して

政安　広規

御住職が修行をされた豊川稲荷にかねてから参拝したいと思っていたので、真っ先に参加の返事をしたように思います。

今回の参拝の行程は豊川稲荷・可睡斎・日泰寺等々と盛り沢山の行程でした。

無知な私には稲荷と曹洞宗との繋がりが不思議でしたが、今回の参拝を機にその事を理解することが出来ました。稲荷といえども曹洞宗の寺院であること。鎮守様（豊川吒枳尼眞天）が稲穂を荷って白い狐に跨がっておられる事から「豊川稲荷」の発祥のことです。少林寺に飾られているポスターで拝見した大きな鐘楼も見ることが出来、感慨深かったです。

可睡斎におきましては、先代の御住職が修行された寺院の一つだそうです。徳川家と所縁の寺院で徳川家の大きな位牌が祀られていました。おまけにおひな祭りも催しされていて、見たことも無いくらい、大きな見事な段飾りのお雛様を見る事が出来ました。また日本で唯一重要文化財になり現在も使用されているトイレも見ることも出来、そのトイレを今は亡き、ポール牧（曹洞宗僧侶）が掃除をしたそうです。

可睡斎　日本一の東司（トイレ）

日泰寺においては、お釈迦様のお骨が埋葬されている仏舎利塔も関係者の配慮を頂き、普段は行けない所まで行き、間近に参拝することが出来ました。

参加者の皆様と親睦を深めつつ、貴重な多くの経験をさせて頂いた事は、御住職をはじめ参加者、関係者皆様のお陰です。皆様方にお世話になり楽しく参拝出来た事も大切な人生の思い出の一つとなりました。有り難う御座いました。

合掌

お釈迦様のお墓参り

釈尊御真骨奉安塔

お寺の参拝旅行を終えて

牧原　良子

今回の参拝旅行は、私にとって大変ありがたいものでした。

御住職のポスターを拝見したときから、豊川稲荷ってどんな所なのだろうかと思っておりましたので、喜んで参加させて頂きました。実際に連れて行って頂き、参拝することができ大感激でした。

新しく出来たてのお部屋で食事を頂き、お寺の中も案内して頂いて、ご祈祷もして頂いて、こんなありがたい事はありませんでした。たくさんのきつね様にもお会いする事が出来ました。

豊川稲荷の狐塚

三月八日～十日　参加者十八名

また、たくさんの位牌が整然と並べられた位牌堂にもまたまたびっくりでした。気持ちが引き締まる思いでした。

二日目の可睡斎での、おひなまつり。凄い数の綺麗に飾られた立派な、おひな様には見とれてしまいました。

日本三大稲荷　豊川稲荷　　後ろの本殿（総欅造り高さ約 30m）にて早朝祈祷

私が子供の時には、家におひな様はなく、私の子供は男の子ばかりなので、おひな様を飾った事がなかったので本当に感動しました。この年で子供に返ったような喜びでした。

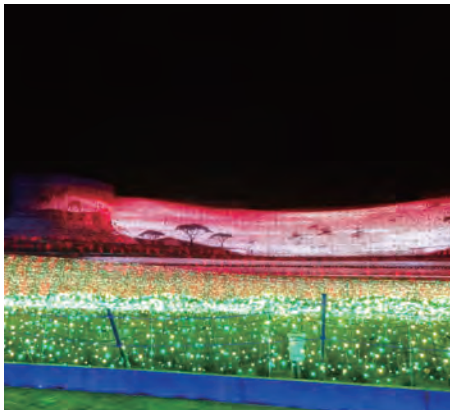
そして、なばなの里。昼間もきれいと思って見ましたが、夜のイルミネーションは素晴らしいものでした。私は生まれて初めてこのような綺麗で凄いイルミネーションを見ました。日頃のストレスも吹っ飛びました。

次々といい所へ連れて行って頂き本当に有難うございました。

私は旅行前一ヶ月程、仕事のことで悩み、夜がよく眠れなくなっておりました。それが、このお寺の参拝旅行から帰ってからは、お陰様で夜熟睡出来る様になり、体調もよくなりまして、とてもありがたく思っています。

御住職様はじめ、一緒に旅行された皆様、職場の皆さん、留守番をして私を行かせてくれた主人に、感謝、感謝の旅でした。

協力　ビーエス観光　中鉄観光バス



なばなの里　イルミネーション　今年のテーマは「大地」

可睡斎ひなまつり

檀信徒総供養会

昨年まで六月に開催しておりました総供養会を本年から春彼岸に変更し、三月二十日、約六十名の参列を頂き営まれました。常寂光寺ご住職〈山縣洋典〉老師（山口県）よりご法話を頂きましたので、一部をご紹介致します。

私の祖母はとても元気な人だった。しかし、八十才を超えたくらいに急に視力が衰え、余り動かなくなり食欲も減り、また記憶も曖昧になり、徐々に調子が悪くなってきた。その原因である目の手術をすることにした。

祖母は手術後、こんなシミやシワが見えるのだったら見えなかった方がよかったと冗談を言えるほど回復した。更に、家に帰ると埃やゴミがよく見えるようになった。すると掃除をするようになった。人間というのはよくない方にもずっと傾いて行きますけど、反対に振れる時もぐっと傾いていく。動いて掃除をすればお腹がすき食欲が出て、身体が調子よくなる。色んな機能が活発に動き出す。綺麗にすれば心も前向きになる。記憶や意識もしっかりするようになった。夜寝て朝起きるというリズムが出来るようになった。その後、百才まで元気に生きた祖母の人生であります。

葬儀後、目を患ったのがきっかけで、かえって前向きにいい人生をおくれたのだろう。と皆で話しました。

今日は、その祖母の長生きの秘訣をお話いたします。

葬儀後に祖母の日記を見つけました。すると、必ず最後に「今日も一日元気で過ごせた自分に感謝します。ありがとうございます」と書かれていました。

今日一緒に唱えたお経の内容の中にもあったように一番尊いことは何か？

それは、自分に感謝が出来るかどうかです。

自分がまさに有り難い。有り難いとは滅多にない。奇跡の状態で今ここに生かされているのだ。一日本当に尊い時間を過ごし生きることが出来た。有り難かったな。自分に感謝出来る。私たちは自分の身体を自分のものように考えがちです。右手を挙げようと思えば右手が挙がる。首を振ろうと思えば首が振れる。自在になるように思いがちであるが、けしてそうではない。

この命というのは自分以外の命の寄せ集めで出来上がっている。皆さんが今日朝お口に入れられたご飯一つ粒。皆さんの口とご飯がご縁がなければそこに入ってこないわけです。皆さんの身体に入ってきた食物は、植物や動物ではない。命を賜わっているわけです。食べるの語源は、たまわる。有り難く頂く。他の命を自分の中に取り入れることによって、自分の命を長らえているということをちゃんとわかって食事していますか。ということです。

そう考えますと、自分の命は自分のものだけではない。この命は他の命の上に奇跡のように成り立っている有り難いものなのだとわかれば、自分のこの命に感謝することが出来る。また自分の命と同じように他の命を慈しむことも出来るのです。自分の命も他の命も変らないわけです。そうしますと、むやみに植物や動物を痛めつけたり排除したりすることは自分を傷つけることであります。けしてそれは出来ない。考えることもなくなるわけです。

一番身近である自分のこの大切な他から頂いた命の有り難みがわかりますか。祖母が

本当に有意義で自分の人生を全う出来たのはまさにその心掛けでありました。身体が動くからだけでなく心がそこにあったからです。「一日一生」という言葉がございます。朝起きた時に自分は新しく生まれた。今日この命。目が覚めるということは命を賜わっている。目を覚まさし頂いた。そうすると何かまだ自分自身やることがあるはず。させて頂く事がまだ何かあるからこそ目が覚めたのだ。と考えて一日を過ごす。すると、明日やれば、この次やればよいとは考えが浮かばないはずです。何故なら、どこでこの命が尽きるかわからないからです。

そして、一日を終えて床につく時には、あ～今日も一日過ごすことが出来有り難かったな。もうこれでよいと思えるような一日を過ごせば満足して眠りにつくことが出来るのではないかと思います。そして、また次の日に目が覚めれば同じように新しい自分がそこに誕生させて頂いた。これからという気持ちでまた一日を送ることが出来る。そうした一日一日の積み重ねこそが私たち自身を有意義な人生を送るためのまさに祖母の長生きの秘訣であるのではないかと、私は思います。

正しいという文字は「一」に「止」。一度止まることで、正しいことが見えてくるのではないか。自分よがりの正しさではなく、自分自身一度立ち止まり、よくよく自分自身を考え確認して頂くとよいと思います。自分の人生を自分自身が照らし見つめ直すことで、益々ご縁のある方への感謝の気持ちが深くなります。これが仏道に準じること日々のお勤めの根幹であります。

毎日、お休みの前には一度立ち止まり、自分に感謝し、他の全ての命に感謝してみては如何でしょうか。例えどんなことがあったとしてもその心構えを持つことで、後で有意義な人生だったと思えるのではないかと思う訳であります。

道元禅師のお言葉に「霧の中を行けば、覚えざるに衣しめる。よき人に近づけば覚えざるによき人となるなり。」とあります。

湿気がある所に行くと、知らない間に衣が湿気を帯びて重くなります。善い人の傍にいますとその人のお考えや行動を知らずにマネ（学び）をして自分自身もよい方へ向いていきますよ。

善いこと、悪いことを勝手に自分の心の中で分けていませんか。あ～しまったなと思うことの方が人生においては多いかもしれない。しかし、その事も踏まえて今の自分があるのだと考えるように努力しませんか。後悔や反省することの多い人生でありますが、それがあるからこそ今の自分があるのだと努力するよう頑張りましょう。と道元禅師は説かれていると思うのです。

一日の自分の行いや考え方を振り返るような時間を作って頂き、ここだと思うような一歩を踏み出せるような有意義な人生を送って頂きたいと思います。

【お寺でヨガ】

お寺の広い空間で、深い呼吸、ゆったりとした動きで、内なるエネルギーと美、自由な精神や充足感を高めて行きます。初心者やご年配の方でも安心して行えます。

【ヨガ講師：スカット☆リンダ】
アーティスト、ヨガ指導者。画家として活動しながら、フランス、インドネシア、岡山などでヨガを指導。現在岡山県美咲町のとっても山奥の棚田 100 選で知られる大はが西に、ヨガとアートの空間「キッサコ (アート＆ヨガ道場喫茶去)」を構える。
http://www.dojokissako.com/

・日程　**毎月第１・３土曜日**　14:30 ～ 16:00
・持物　動き易い服装、お茶又は水、ヨガマット又はバスタオル
・定員　５名～１５名（予約制先着順）・料金１,２００円（回数券あります）
・ご予約は、前日午後５時までに「氏名・連絡先」をお知らせ下さい。
・少人数の場合は中止 (ご連絡します) もございますのでご了承下さい。

＜平成 29 年 6 月～平成 30 年 1 月予定＞

6/3　6/17　7/1　7/15　8/5　※8/26　9/2　9/16　10/7
10/21　11/4（満月）　11/18（新月）　12/2　12/16　1/6　1/20

【盂蘭盆大施食会】（うらぼんだいせじきえ）

8/18（金）15:00　法話「お笑い説法」
高野山真言宗　多聞寺ご住職　桂米裕 (吉田宥禪) 師
16:15 盆供養法要　　17:30 頃 終了予定

【お月見坐禅会】

中秋の名月 **10/4（水）**　後の名月 **11/1（水）**
18:00 ～ お団子作り
19:00 ～ 坐禅、お楽しみイベント、お月見

【禅道場体験】

8/23（水）　7:30 受付　7:50～14:00
（掃除、坐禅、読経、写経、お話など）

少林寺で修行を体験してみませんか？

子供から大人まで檀家は問いません。お誘い合わせの上、ご参加下さい。

・参加資格…やる気ある人
・対象…小学生以上
・予約制…先着７０名
・参加費…無料
・申込み方法…
　少林寺にて「禅道場体験入門願」ご記入下さい。
・持物…水筒・帽子
・締切…８月１０日

【覚禅会（かくぜんかい）】

毎月第２土曜日（9:00～坐禅・行茶、10:00～読経・写経）
＜平成 29 年６月～平成 30 年１月予定＞
6/10　7/8　9/9　10/14　※11/3（金）　12/9　1/13

・参加費無料。坐禅と写経の二部制です。一方の参加も可能です。
・足の不自由な方は、椅子に座り足を組まなくてもできます。
・写経は、椅子と机がございます。
・道具もあります。（使い慣れた道具があれば持参下さい）
・檀家、年齢性別は問いません。どなた様もお気軽にお越し下さい。
・団体の場合はご連絡下さい。個別の日程は要相談。
・個人、団体、企業など出張で坐禅会・写経会を致します。
・勝手ながら、急な日程変更もありますので事前にご確認頂ければ幸いです。

【夜の坐禅会】

9/6（水）19:30　満月坐禅（旧暦７月 16 日精霊送り）
11/13（月）19:30　少林寺開山忌（初代住職命日）
12/ 7（木）19:30　摂心会（釈尊覚り前夜）

【奉仕清掃活動】 7/31（月）7:30　9/19（火）7:30

参加自由。一緒に私たちの少林寺を綺麗にしましょう。
鎌、軍手、鋤簾、草取り道具など各自ご用意出来る掃除道具をご持参下さい。

【婦人会清掃活動】

6/24（土）8:00　中北下地区
8/18（金）8:00　坪井上地区
12/16（土）9:00　中北上地区
3/21（水）8:00　坪井下地区

【御詠歌講員募集】

毎月２回
１回　２時間（休憩有）1,500 円
講師　源福寺ご住職　小谷典尚 先生
ご見学ご自由にどうぞ。

【２年参り】 12/31（日）

23:45 除夜の鐘

【修正会（しゅしょうえ）】 元日～1/3

①11:00　②14:00（随時受付）
厄払いなど新年のご祈祷します

【総供養（先祖供養）】

3/21（水）　10:00 先祖供養
講演　志賀勝 先生
本紙連載中「お月さま」著者

住職のつぶやき

●私が十二年過ごした第２の故郷「愛知県」。中学卒業と同時に豊川稲荷へ入山修行。正直、何度も逃げたいと思ったほど厳しく辛かった。それを支えてくれたのは、自分は一人ではなく檀信徒や地域の人や家族のお陰で今が有る。そのご恩に報いるため立派な和尚になるぞ！という覚悟だった。今年、檀信徒と一緒にお参りでき本当に有り難かった。しかし、立派な和尚にはまだ道半ば…。初心を忘れず日々精進。

●坐禅、写経、御詠歌、法要、月見、修行体験、ヨガ、英語、清掃活動など…最近は寺の行事が盛り沢山。実は何より私自身が楽しんでいる。お寺に来るきっかけの入口を増やしたことで来寺者が増加。有り難いことです。お寺を元気にしたい。お寺や仏教で、人を救いたいという思い。次は何をしようか？檀家さん側からも要望があれば是非聞きたい。

【棚経（盆経）】 ・午前… 7 時～ 13 時頃　・午後… 12 時～ 20 時頃

・美作地区外の方は、お電話で日程をご連絡いたします。
・美作地区の方は、勝手ながら以下の予定表通りお勤めさせて頂きます。
・葬儀等で急な日程変更もございますことご了承下さい。
・ご都合の悪い方は、日程変更が可能ですのでご遠慮なくご連絡下さい。
・お留守の場合は、略式ながら外から読経させて頂きます。宜しくお願い致します。

日にち	曜日	時間	地域（仏壇の安置場所で表記）
5月下～6月上旬			関東、中部地域
6月頃			関西地域
7月頃			中国（岡山県外）四国地域
			岡山県南地域、新見市、勝央町、美作市
7月18日	火	午前	加茂町、上横野、苫田郡鏡野町、宮部下
		午後	宮尾、久米川南、神代、福田下、桑上、桑下、戸脇、美咲町
7月19日	水	午前	山方、一宮、大田、沼
		午後	上河原、北園町、山下、元魚町、椿高下、総社、小原
7月20日	木	午前	林田、野介代、川崎、中原、横山、昭和町
		午後	大谷、南新座、福渡町、鉄砲町、小田中、二宮、院庄
7月28日	金	午前	真庭市
8月1日	火	午前	畝西、政友
		午後	追分、原（上）
8月2日	水	午前	原（下）、安清（上）
		午後	安清（下）、福本
8月3日	木	午前	明谷、岩谷
		午後	磯尾、寺城、大宮
8月4日	金	午前	坪井（1）（2）
		午後	坪井（3）（4）
8月5日	土	午前	岡、寺岡、千代
		午後	三成（1）（2）
8月6日	日	午前	
		午後	多田、領家
8月7日	月	午前	木原、向山根
		午後	山根（東）（中）（西）
8月8日	火		奈義町、津山市坪井町
8月9～12日			〈初盆・予備日〉
8月13～15日			〈初盆〉 ※ご予約がまだの方は、お早めにご連絡下さい。
秋彼岸頃			九州地域

曹洞宗 澤龍山 少林寺
〒709-4606 岡山県津山市中北上 1150
●電話 0868-57-2303 ●住職電話 080-6351-9686
●メール info@shorinzenji.com
●ホームページ　http://www.shorinzenji.com
●曹洞宗澤龍山少林寺フェイスブック　https://www.facebook.com/shorinzenji
●晃輝和尚のブログ「覚禅堂」　http://ameblo.jp/seiryo-koki/
フェイスブック
ブログ